

# 平成17年基準 消費者物価指数

## 東京都区部 平成19年10月分(中旬速報値)

### 1 概況

- ~~~~~
- (1) 総合指数は平成17年を100として100.6となり、前月比は0.1%の上昇。前年同月比は0.1%の上昇となった。
  - (2) 生鮮食品を除く総合指数は100.3となり、前月比は0.2%の上昇。前年同月と同水準となった。
  - (3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.8となり、前月比は0.1%の上昇。前年同月比は0.3%の下落となった。
- ~~~~~

図1 総合指数の動き

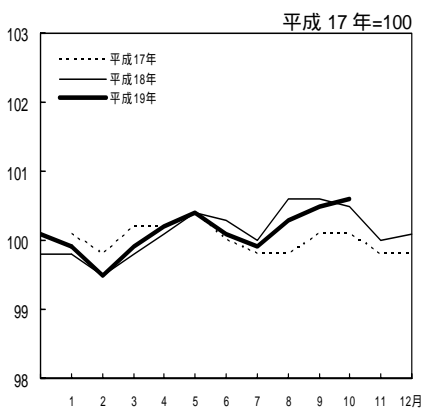


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

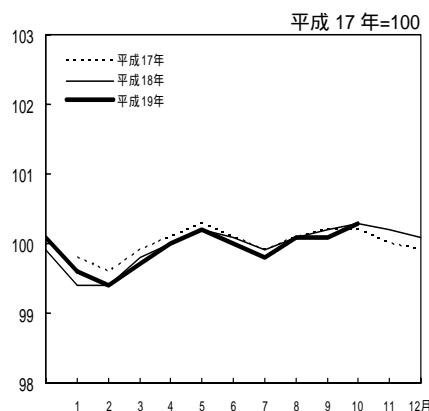


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き

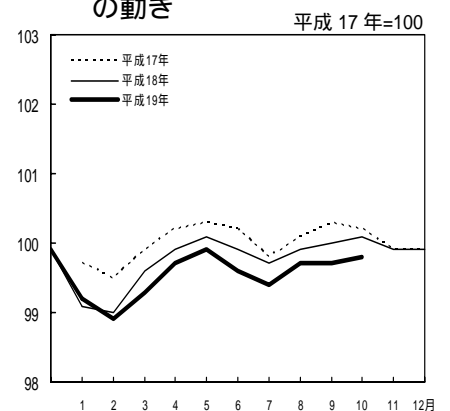


表1 総合、生鮮食品を除く総合、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合の前月比及び前年同月比

		平成18年			19年										(%)
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
総合	前月比	0.1	0.5	0.1	0.2	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.2	0.1	
	前年同月比	0.4	0.2	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	
生鮮食品を除く総合	前月比	0.1	0.1	0.1	0.5	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2	
	前年同月比	0.1	0.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	前月比	0.1	0.2	0.0	0.7	0.3	0.4	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	0.0	0.1	
	前年同月比	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	

(注) はマイナスを表す(以下同じ)。

## 2 東京都区部

### 2 前月からの動き

表2 10大費目指数，前月比及び寄与度

(平成17年=100)

	食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費		
	総合	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合*											
指数	100.6	100.3	99.8	101.3	108.0	100.2	103.7	95.9	103.1	99.2	99.6	102.0	98.6	101.7
前月比(%)	0.1	0.2	0.1	0.1	1.0	0.0	0.8	0.4	1.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.3
寄与度	0.10	0.19	0.07	0.02	0.04	0.00	0.05	0.01	0.06	0.00	0.02	0.00	0.01	0.02

\* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合 (以下同じ)

総合指数の前月比が0.1%の上昇となった内訳を寄与度で見ると、被服及び履物、光熱・水道などの上昇が要因となっている。

[主な内訳]	10大費目	中分類	品目
	被服及び履物	衣料(1.8%)	…… 婦人スラックス(冬物)など
	光熱・水道	電気代(1.1%)	

### 3 前年同月との比較

表3 10大費目の前年同月比及び寄与度

	食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費		
	総合	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合*											
前年同月比(%)	(0.1)	(0.1)	(0.3)	(0.2)	(0.4)	(0.1)	(0.6)	(2.9)	(1.3)	(0.6)	(0.5)	(1.2)	(1.0)	(0.2)
	0.1	0.0	0.3	0.5	2.1	0.2	1.2	2.3	1.7	0.6	0.1	1.2	0.9	0.4
寄与度	(0.10)	(0.10)	(0.21)	(0.05)	(0.02)	(0.03)	(0.03)	(0.08)	(0.06)	(0.02)	(0.05)	(0.06)	(0.11)	(0.01)
	0.10	0.00	0.21	0.12	0.09	0.05	0.07	0.07	0.09	0.02	0.01	0.06	0.10	0.02

(注) ( )は、前月の前年同月比及び寄与度

総合指数の前年同月比が0.1%の上昇となった内訳を寄与度で見ると、食料などの上昇が要因となっている。なお、教養娯楽などは下落した。

[主な内訳]	10大費目	中分類	品目
	食料	生鮮野菜(5.2%)	…… だいこんなど
	教養娯楽	教養娯楽用耐久財(-14.6%)	…… パソコン(ノート型)など

## 参考1 財・サービス分類の前年同月比及び寄与度

	総合	財							サービス				
		生鮮食品 を除く財	農畜 産物	水産 物	工業 製品	うち耐久 消費財	電気・都市 ガス・水道	出版物	サービス	公共 サービス	一般 サービス	うち 外食	うち 民営家賃
前年 同月比 (%)	( 0.1)	( 0.7)	( 0.8)	( 1.0)	( 1.3)	( 6.2)	( 0.7)	( 0.3)	( 0.3)	( 0.4)	( 0.3)	( 0.4)	( 0.4)
	0.1	0.3	0.6	2.0	1.1	6.0	1.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4	0.3
寄与度	( 0.10)	( 0.29)	( 0.30)	( 0.07)	( 0.37)	( 0.20)	( 0.03)	( 0.00)	( 0.17)	( 0.05)	( 0.13)	( 0.02)	( 0.02)
	0.10	0.12	0.23	0.14	0.31	0.19	0.06	0.00	0.17	0.03	0.09	0.02	0.01

(注) ( )は、前月の前年同月比及び寄与度

## 参考2 前月比で上昇・下落幅の大きかった項目 (中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前月比 (%)		中 分 類	前月比 (%)	
1	他の光熱	2.3	1	生鮮果物	4.3
2	寝具類	2.2	2	履物類	0.5
3	衣料	1.8	3	家庭用耐久財	0.3
3	他の被服類	1.8	4	医薬品・健康保持用摂取品	0.2
5	電気代	1.1	5	教養娯楽サービス	0.1

## 参考3 前年同月比で上昇・下落幅の大きかった項目 (中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前年同月比 (%)		中 分 類	前年同月比 (%)	
1	生鮮野菜	5.2	1	教養娯楽用耐久財	14.6
2	肉類	4.1	2	家庭用耐久財	7.8
3	補習教育	3.2	3	室内装備品	4.6
3	履物類	3.2	4	衣料	3.9
5	他の光熱	2.6	5	身の回り用品	2.6

## 参考4 総合指数の前年同月比に対する寄与の大きかった項目 (中分類)

上 昇				下 落			
中 分 類	寄与度	前年同月比 (%)		中 分 類	寄与度	前年同月比 (%)	
1	生鮮野菜	0.10	5.2	1	教養娯楽用耐久財	0.12	14.6
2	肉類	0.07	4.1	2	衣料	0.09	3.9
3	家賃	0.05	0.2	3	家庭用耐久財	0.07	7.8
4	自動車等関係費	0.04	1.0	3	通信	0.07	2.3
4	教養娯楽サービス	0.04	0.6	5	教養娯楽用品	0.02	1.1

前年同月比が下落から上昇に転じたことに寄与した主な項目 注1)

	前月	今月
生鮮野菜	0.2% (0.00)	5.2% (0.10)
(別掲)		
石油製品 注2)	-0.4% (0.00)	2.8% (0.03)
エネルギー 注3)	0.6% (0.03)	1.9% (0.10)

注1) 数値は、前年同月比及び括弧内は寄与度

注2) 石油製品：プロパンガス、灯油、ガソリン

注3) エネルギー：電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

平成19年10月26日  
総務省統計局

消費者物価指数 主要品目の前年同月比及びその寄与度  
(エネルギー・耐久消費財など)

東京都区部(10月分(中旬速報値))

表5 エネルギー構成品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成19年9月		平成19年10月		
		前年同月比	寄与度	前年同月比	寄与度	寄与度差
エネルギー	506	0.6	0.03	1.9	0.10	0.07
電気代	247	1.1	0.03	1.3	0.03	0.00
都市ガス代	159	0.7	0.01	2.0	0.03	0.02
石油製品	100	-0.4	0.00	2.8	0.03	0.04
プロパンガス	7	1.6	0.00	1.9	0.00	0.00
灯油	9	-0.2	0.00	2.6	0.00	0.00
ガソリン	84	-0.7	-0.01	3.0	0.03	0.04

表6 耐久消費財の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成19年9月		平成19年10月		
		前年同月比	寄与度	前年同月比	寄与度	寄与度差
家庭用耐久財	91	-7.0	-0.06	-7.8	-0.07	-0.01
教養娯楽用耐久財	102	-15.8	-0.13	-14.6	-0.12	0.01
テレビ(薄型)	20	-14.7	-0.02	-13.8	-0.02	0.00
パソコン(デスクトップ型)	12	-18.3	-0.02	-16.7	-0.02	0.00
パソコン(ノート型)	19	-27.0	-0.04	-27.7	-0.04	0.00
カメラ	10	-32.0	-0.02	-29.0	-0.02	0.00

表7 交通・通信の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成19年9月		平成19年10月		
		前年同月比	寄与度	前年同月比	寄与度	寄与度差
航空運賃	35	1.8	0.01	5.8	0.02	0.01
携帯電話通信料	166	-4.1	-0.06	-4.1	-0.06	0.00

注)

寄与度は総合指数の変化率に対してどの程度寄与したかを示したものである。

寄与度は実数ウエイトを使用し、次の計算式によって算出している。

$$\text{品目 A の 寄与度} = \frac{\left( \frac{\text{当期の品目 A の指数} - \text{前期の品目 A の指数}}{\text{前期の品目 A の指数}} \right) \times \frac{\text{品目 A のウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

各品目の寄与度は小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで表章している。そのため、足し上げて上位類の寄与度とは必ずしも一致しない。

寄与度差は小数第4位まで持った寄与度により計算し、小数第3位を四捨五入して小数第2位まで表章している。そのため、当月と前月の寄与度を差し引いても寄与度差と一致しないことがある。